

かたらい

44号
2016 秋

特別企画

「学び、出会い、

楽しむ！」

男性料理教室



目次

特別企画①

p2 小金井市翁味会おうみかい／おやじランチ

特別企画②

p6 男性も参加できる小金井市の料理教室

p8 国際比較

インドの古典武術「カラリパヤットウ」を日本に広めたい
ニディーシュ・カリンビルさんに聞く

p10 男女平等に関する市民意識調査結果について

学び、出会い、楽しむ！

男性料理教室

はじめに

小金井に、一番最初の男性の料理教室ができて、30年がたつそうです。この30年間で、男女共同参画社会や男女平等雇用の法律ができてきました。長いようにも思いますが、まだまだ周りを見ると環境が変わっていない部分もあります。

しかし、若い人の間では、弁当男子といわれるように、大学生が自分で弁当を作って持ってきたり、結婚して、意外と料理をする男性が増えていると聞きます。このように料理を楽しむ男性が増えていることは事実のようです。

そこで、男性料理教室の果たした役割とそこに参加する人々の跡をたどってみようと思いました。ここでは主として二つの料理グループに取材しています。

男性の料理教室は、当初は妻が倒れたときや一人になったときに、何もできなければ困る男性が多かったため、料理に少しでも親しんでもらおうという事で始まりましたが、だんだん料理の幅も広くなり、現在では和洋中のほか、様々な国の料理にも挑戦しているそうです。



1. 男性料理教室の発足

I 小金井市 おうみかい 翁味会

昭和60年（1985年）、男性の料理教室は小金井市が企画し、社会福祉協議会が実施して始まりました。2年後に、料理教室の修了生23人（ほぼ全員）で「小金井市翁味会（以下、「翁味会」という。）」が発足しました。講師は山崎智恵子さんです。

「男性の料理教室」といっても「おじいちゃんの料理教室」といわれるくらいで、皆61歳くらいで、一所懸命だったそうです。妻が病弱とか、亡くなってしまったりと、必要に迫られた人たちが多かったようで、教室としては10年くらいは続きました。また、その頃としては、男性に対しての料理教室が珍しいこともあり、テレビの取材とか、色々なところにも取り上げられたそうです。人数は23人くらいで、なかなか大変だったそうです。

「翁味会」は、昭和62年（1987年）以来ずっと続いており、平成28年



（後列左から）竹本靖雄さん 小川孝夫さん 小林玄さん
（前列左から）芹田喜直さん 佐野晃弘さん

（2016年）で30年になります。会員の年齢も上昇してきており、現在は57歳から92歳までの方がいらっしやいます。皆さん、月一回、楽しく料理をしているという事です。

2. 料理教室に入ったきっかけ

メンバーの小林さんは、おいしいライスカレー、ラーメン、豚汁を作りたいと思ったが、それにはまず、料理の基本から教わらなければならぬと考え入会したそうです。そして、調味料を正確に計量すれば、味付けが上手くいく、ということにも気がついたそうです。

料理教室に入っていた人に誘われた人、妻から「入ってほしい、勉強したら」といわれた人もいました。

また、会社員のときには外食が多かったのですが、一人になったときには困るといわれて、料理教室に参加した人もいました。皆、その後「翁味会」に入りました。

3. 翁味会のよいところ

男だけが集まっている料理教室や翁味会は、皆対等で、仲良くなれるところがよいようです。また、妻にいろいろ聞くのは気が引けるが、男同士ならば関係ない。さらに、後片付けは苦にならないという人もいました。整理整頓は、皆よくやっているそうです。

先生と相談し、メンバーのレシピ担当の方が毎回レシピを作っています。買い物分量を計算し、それをもとにメンバーが買い物に行き、調理の段取りを行い、そして作る。食べた後は片付けをするというように、実に合理的にシステムがきちつと出来上がっており、約60名の会員が3グループに分かれ、その1グループ20名前後の人がさらに4班に分かれて料理していきま

す。このような仕組みを作り段階を踏んで料理していく事に生きがいを感じていらっしやる、という事がよく分かります。

ました。

一度に何種類も作るのも、女性でも大変だと思います。しかし、色々なものを作ることで、これを30年も続けられれば、セミプロの段階に行くのではないかと思われました。翁味会は日本の家庭料理、いわゆる和食を基本としています。さすが打ち、中華まんじゅう、さらには海外のものがレシピに加わることもあります。

ただ、レシピが4人前という事もあり、1人前や2人前を家で作るとなるとちよつと難しく、苦勞してしまいうのですが、家族が集まる時は逆に重宝しているとのことでした。

そのほかでは、料理は計量するようになった、妻にメニューのヒントを出せるようになったなどがありました。

4. 家庭において

家庭で調理することがあるかお伺いしたところ、多くの方が家でやっているとのことでした。また、妻と交互に料理している人、朝と昼は作っている人、時々料理するという人など様々です。

当番班（買い出し等4班が順繰りに担当する）が率先し、全員で後片付けをきちつとやるという事で、翁味会では、かなり訓練され身についているという感じを受けました。後片付けは、

普通一番難しく、男性が料理をするとき、妻たちは一番後片付けに苦勞すると聞いていたのですが、翁味会の男性たちは、しっかりと後片付けをしてくれる点で、評価が高いのではないかと思えます。

妻のつけられる点数としては、後片付けも含めてかなり高いようでした。これは翁味会30年の強みでしょう。

5. 男女平等という言葉について

「男女平等はわかるが、男女共同参画はきわめて抽象的である。」というように、言葉は知っていても、あまり身近ではないようです。

戦前は男性社会でしたが、戦後は男

料理の一例



麻婆豆腐
キャベツの八方甘酢漬
大根のスープ
抹茶ハシロア
ご飯



夏のちらし寿司
蒸し茄子の和風サラダ
すまし汁
フルーツヨーグルト

女平等といわれて戸惑ったようです。

現在でも、男女平等は完全ではないが、男性が助けてあげればよいのではないかとこの方もいらっしやいました。

メンバーの佐野さんは、先輩や同僚の女性と一緒に仕事をやったこともあり、そのときの経験からも女性の方が、能力もあり、優れている人も多勢おり、男女平等は当たり前のもので、「共同参画」という言葉は「何を今更」としっくりこないそうです。

そのほかの皆さんも、言葉は知っているが、考えたこともない。家では家事ができる方がやっているというように、分担だそうです。また、夫がお金を稼ぐといっても、そのお金は妻のものでもあるので、妻とは一緒に仕事をやっていかないとけないという意見もありました。しかし、「平等とは元気で明るい人間関係であり、それを若い人は『同権』という形で生活している」との言葉に、深い理解をお持ちではないかと思われました。



Ⅱ おやじランチ

1. おやじランチの発足

男性による料理づくりのグループ「おやじランチ」の代表 木村彰宏さんからお話を伺いました。

「おやじランチ」設立は、2007年5月の東センター成人学級「男子厨房に集まれ」がきっかけです。学級終了後も継続を希望した5名でスタート、同年末には、自主グループ「COOK BOOK」代表の小室満子先生を迎えて、今は、平均年齢約70歳、会員数16名、月1回の活動で継続しています。

木村さん自身、会社員時代は帰宅が遅く、出張も多かったこともあって、料理に関するものは何一つ出来なかつたそうですが、妻に万一のことがあったとき、あるいは互いに高齢になっていく将来を考えて、食事が作れることは重要であると思い、この活動を開始したと言います。会員の方の参加したきっかけは、本人からの入会希望も勿論ありますが、6〜7割は妻からの後



代表 木村彰宏さん

押しで仲間になったそうです。

作る料理は、季節の食材を使った家庭料理を中心とした和・洋・中の料理ですが、もてなし料理としても立派に通用するレシピに楽しんで挑戦していらっしやいます。この春(2016年)には、めでたく、赤飯花見弁当で、会設立後100回目のレシピを迎えることが出来たそうです。

2. 会員の皆さん

16名の中には、マイ包丁を持参したり、パスタやうどんの講座を開いてくれる腕前の会員も居る一方、これから一歩一歩進歩していく過程の会員も居り、技術的な差はあるようです。しか

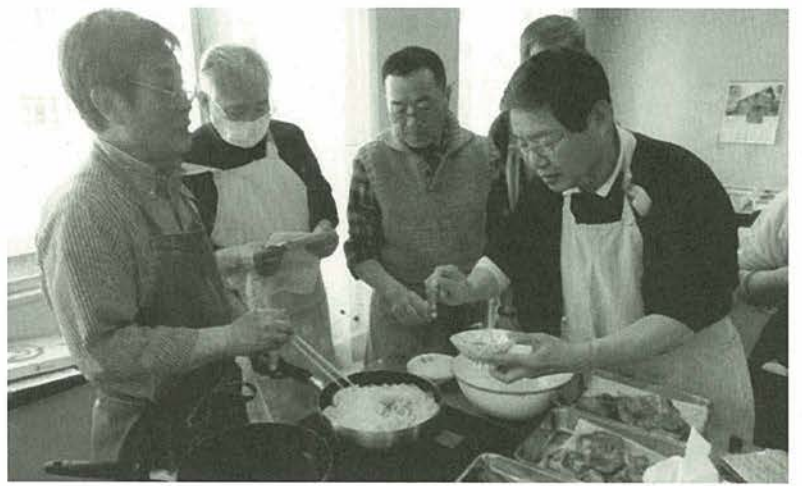
しながら、週1回以上、7〜8割の方が家で食事を作っているとお話しなので、会合のときだけでなく、家庭での定着ぶりもなかなかのものではないでしょうか。木村さんは、朝食は毎日、夕食も週2回は作っており、妻からの評判は上々で、「もっと回数を増やして欲しい。」と言われていると言いますから、きっと、会社員時代には想像もなかった域に達しているのでしょう。他の会員の方も、孫から「おじいちゃんあの料理がまた食べたい。」とリクエストされたり、レシピを人に教えたり、写真を見せたりすると、「へえー」と感心されるなど、周りからの高い評価もやる気を高めている一因のようです。

会員の皆さんそれぞれに得意料理があり、木村さんはサーモンワイン蒸しクリームソース、小鰯の南蛮漬け、水餃子などだそうです。木村さんの作った料理の写真を拝見したのですが、どれも素晴らしい腕前でした。

会の発足のきっかけとなった東センターとは、お祭りのサポートをするなど、現在でも関わっていらっしやいます。そういった形で社会との繋がりが豊かになっていることも、活動のおかげと言えそうです。

3. 他の家事について

男性の料理にありがちな「作るけど



他の会員の方も、食事作りだけでなく、他の家事も積極的にやっているのではないかと感じているそうです。料理作りが、家事全般についても「目覚め」させてくれたのかもしれない。

4. 妻との関係

男女平等という教育を受けた世代ではなく、会社員時代もそうではなかったのですが、「今の年代になり、一日中顔を合わせるライフスタイルの中では、妻とは、全く平等なつもり。」だと木村さんはおっしゃいます。フレックスクス勤務や在宅勤務など、働くスタイルにも変化が出て、個人の裁量が生かせるようになってきていると思うので、これからの世代は、若い頃から、もっと家庭のことに関わっていきけるのではないかと、思っているそうです。

5. これからのこと

おやじランチ設立の目的は、①料理を作れるようになりたい、②ライフスタイルの充実、③仲間づくりの3つだったのですが、①は当然に達成しているとして、②についても、おやじランチの活動に参加することにより、各会員のライフスタイルの充実に貢献しているようですし、③も、年に2〜3回

のゴルフコンペなど活動の幅を広げて、「料理仲間＝良い仲間」になっているようです。

木村さんにとっても、この活動は、もはや欠かすことの出来ない重要な位置付けとのことです。レシピ200回を次なる目標として、ますます楽しく元気に続けていただき、妻た

料理の一例



サーモンのワイン蒸し
きのこのマリネサラダ
オニオングラタンスープ
かきのソテー
レアチーズケーキ

ちをハッピーな気持ちにさせていただくと同時に、「へえー」と驚いてくれた他の男性たちにも良い影響を与えてくれることを大いに期待します。

取材を終えて

家庭では現在、全員が家事はそれぞれ分担し、お互いを尊重するという男女共同参画社会を實行していこうというように、非常に頼もしいという感じを受けました。翁味会の特色は、①学びがある、②出合いがある、③楽しみがある、というものです。本当に多くの男性が楽しみながら料理を作っているのだという事、そしてそれに付随して多くの事を学んでいるのだという事を強く感じました。(佐)

まだまだ十分動ける年代に、「いざ起ころうかもしれないこと」を想定して動くことは、簡単なようである、中々できることではないと思います。現役時代に縁のなかった料理にチャレンジして、実力を身につけた木村さんを、人生の先輩として尊敬します。(坂)

男性も参加できる 小金井市の料理教室



平成28年6月25日(土)に保健センターで行われた「マタニティクッキング」と「退職後の男の栄養と料理講座」について、マタニティクッキングを企画した市健康課の管理栄養士である田中昌子さんにお聞きしました。

Q マタニティクッキングをはじめたきっかけを教えてください

はじめたきっかけは、市の栄養教育事業で行っていた栄養講習会です。健康維持のために大切な食生活を改善しやすい時期は、生涯を通してみると、乳幼児期・学齢期・妊娠期と考えます。そこで、妊娠期の栄養教育として、講習会テーマにマタニティクッキングを企画しました。当時、この企画は参加希望者が多く、キャンセル待ちが出るほどでした。

今後、生活習慣病の医療費は10兆円を超えるとも言われており、若年期からの健康教育はとても重要です。妊娠期は、栄養摂取に注意する時期なので、その機会に食生活の改善をして頂くと良いと思います。

Q マタニティクッキングは、その後も順調でしたか？

仕事を続ける妊婦さんが増え、平日の午前中に開催すると、参加者が少なくなってしまうこともありました。そこで、年2回は土曜日に開催し、パートナーである夫も参加しやすくしました。

現在では、夫の参加者が増え、平日に開催しても1〜2名の夫の参加があります。

栄養講習会は年6回ありますが、男性のみを対象にした企画は、参加率が低い傾向にあります。一方、子どもと父親、夫妻等のペア企画だと参加率が上がります。

Q 夫も参加することによる効果はどうですか？

まず、妻としては、夫にも一緒に話を聞いてもらいたいという気持ちがあります。妊娠期は、赤ちゃんのために栄養に気を遣う時期ですので、この機会に、夫にも一緒に子どものご飯のこと、栄養のことを考えて欲しいと思います。

私としては、夫にも料理を覚えてもらい、ご飯を炊けるように、味噌汁を作れるようになって、妻が大変なときに「ご飯は？」と聞かないようになってくれると良いと思います。子どもが産まれてからも、是非料理を作ってもらいたいですね。

Q 「退職後の男の栄養と料理」講座もあるそうですが？

男性の調理技術が低い傾向にあるため、妻が先に亡くなったとき、死亡率が上昇してしまう傾向にあると言われています。また、食費を抑えるためには自炊がお勧めです。講習会では、炊き込みご飯など、初心者向けのメニューを提案しています。対象者は60歳以上で、これまでの主な参加者は、妻が亡くなっている方や、独居の方でした。

自身の健康は自身で守る必要があるため、男性が料理をすることは勿論、バランスの取れた食事をするための知識も重要です。また、料理は複数の動作を同時に考える必要があるため、認知症の予防にも効果的です。

Q 男女共同参画についてはどう思われますか？

お互いに、想像力がないといけなないと思います。夫は、24時間子どもがいる大変さを理解しないと、妻を思いやれません。お互いの状況や気持ちを知ることだと思えます。妊婦にとつては、特にパートナーである夫に気持ちをわかしてもらいたいと思うものです。料理にしても、母親が作ってくれるのと、



マタニティクッキングの料理風景

夫が作ってくれるのでは、意味が違ってきます。

保健センター全体でみると、この10年間ぐらいで夫も健診に来たり、平日の両親学級に来たりすることが当たり前になりました。男性の意識は変わってきていると思います。

Q 男女共同参画が進むためには、どうすべきだと思いますか？

環境としては、妻が、子どもを預けやすくなる必要があると思います。やはり、一時保育に罪悪感を持ってしまふ妻は、多いと思います。夫が休みやすくなって、子どもを見ることであればよいですね。共働きの家庭が増えています。子どもが熱を出したときなどは、結局、女性が休まなければ

いけなくなってしまうことが多いと思います。

男女共同参画は、家庭単位でできればよいと思います。現在では、主夫もめずらしくないですね。お互い元気で生活するにはどうすればよいか、考えてほしいと思います。まずは参加するところから始めて、保健センターの教室も是非ご利用頂ければと思います。

注1 12ページに保健センターの教室を紹介しています。

取材を終えて

今回のイベントがきっかけで、家でも料理をしてみようと思い、夕飯を作りました。現在では、男性が家事や育児に参加することが当たり前になり、男性の料理が目されています。家庭で料理をふるまうパパの皆様も多いのではないのでしょうか。しかし、男性の家事や育児への参加は、まだまだ足りていないという調査結果もあります。パパの皆様、大変な時代になりましたが、楽しんで、一緒に頑張りましょう！（濱）

注2 10・11ページに男女平等に関する市民意識調査結果を紹介しています。

父子で体験

「パパと作ろう！外国のパン」



平成28年5月7日（土）、貫井南児童館で開催された「パパと作ろう！外国のパン」に、4歳の娘と一緒に参加してきました。

「パパと作ろう！外国のパン」は、タイトルの通り、子どもと父親と一緒にパンを作る企画です。講師の川崎アネッタさんは、「かたらい43号」の国際比較のコーナーで取材をさせていただいた方で、モルドバのご出身です。そのときの取材でも、アネッタさんは、

料理が得意でモルドバの料理を、小金井で紹介したいとおっしゃっていました。

今回作ったのは、「コラチパン」というモルドバのパンです。まずは、パン生地をヘビのように細長く伸ばします。普段、料理をすることに慣れていないパパと子どもの共同作業なので上手いかないこともしばしばです。パン生地は一度切れるとくっつかないのですね（泣）。次に細長く伸ばした生地をねじって、「コラチパン」の形にします。手際よく見本を見せてくださるアネッタさん。次々にダメ出しをされるパパ達ですが、子どもと一緒に一生懸命ねじりました。少し屋外で生地を寝かせてから、いよいよオーブンに運びます。焼きあがるまでの待ち時間には、参加者みんなでアネッタさんから、モルドバの国の話を聞きました。

しばらくすると、パンが焼きあがり、油を少し塗って出来上がり！焼き立てパンは、本当においしく、みんな笑顔で食べました。自分で作ったパンなので、子どももいつもより積極的に食べべてくれました。終了後は、児童館でひと遊びして、楽しい一日を過ごせました。

パパにとって、一日子どもを見ることは、ママの想像以上に大変なことなので、私は、ひとまず外に出ることにしています。小金井では、たくさんの子どもを連れていけるイベントが、開催されています。市報などで探して、出かけてみてはいかがでしょうか。一日、外で子どもと遊んできてくれれば、ママにとっても良い休みになりますね。（濱）

レシピ コラチパン（4つ分）

- ・強力粉（900グラム）
- ・サラダ油（大さじ3）
- ・ドライイースト（小さじ1）
- ・水（400cc）
- ・塩（小さじ1）
- ・砂糖（小さじ1）

- ① 計量カップにドライイースト・砂糖・100ccのぬるま湯を入れ、まぜて15分ぐらい置く
- ② ①に塩・サラダ油を入れる
- ③ 別のボウルに強力粉をふるっておく
- ④ ②を③に入れて混ぜ、水400ccを、様子を見ながら入れてこねる（15分くらい）
- ⑤ 成形し、30分くらい発酵させる
- ⑥ オープンで200℃、20～25分焼く



国際比較

インドの古典武術「カラリパヤットウ」を 日本に広めたい

ニデイーシュ・カリンビルさんに聞く

ニデイーシュ・カリンビルさんは、インドのご出身で、インドの古典武術である「カラリパヤットウ」を日本で広めるために様々な活動をされています。かわいいお子さまを抱っこされて妻の浅見千鶴子さんといらっしゃいました。どこことなく気品を感じます。お2人に、インドのことやカラリパヤットウについてお伺いしました。

インドについて

インドは、26州あり、州によって文化と言語が違います。南と北では大違いです。私の生家は、南インドケララ州の地方都市カリカットというところですよ。

ケララ州の風土は、日本でいうと沖縄に似ていて、とても過ごしやすいところですよ。インド人の多くは大家族で暮らしています。インドの大多数はヒンズー教ですが、ケララ州ではクリスチャンが多いです。ケララ州は教育水準が高く、裕福な家庭も多く、文化度も高いです。タクシーやオートドライバも英語を話します。教育熱が高く、プレスクールと呼ばれる幼稚園から英語を学び、多くの子どもは学校以外に塾に通っています。勉強が大変で子どもは忙しいですよ。

インドでは、エンジニアとドクターの2つの職業が大変人気です。私の親



戚にもエンジニアが一人、ドクターも一人います。日本と一緒に女性の多くは、子育てをしながら働いています。教育費に大変お金をかけていて、親戚のほとんどは私立学校に通っています。インドでは、公立学校と比べ私立学校の方が、はるかに教育レベルが高いためです。

インド人の結婚はお見合いが大半です。インドでは収入や学歴などが同じようであれば結婚することが難しいので、自分のステータスを上げるために、大人になってから大学卒業資格を

とるという人もいます。

また、インドは、見栄っ張りな人が多く、お金持ちは大きな家に住み、立派な車を所有しています。それがお金持ちだからです。日本は違いますね。日本ではお金持ちが必ず大きな家に住み、立派な車を持っているとは限りませんね。

インドの食事について

インドの人は、1日に5食も食べます。モーニングティ、朝ごはん、ランチ、そして、16時頃にティーブレイク、といっても、コーヒーと揚げ物を食べるのでかなり重たい食事です(笑)。

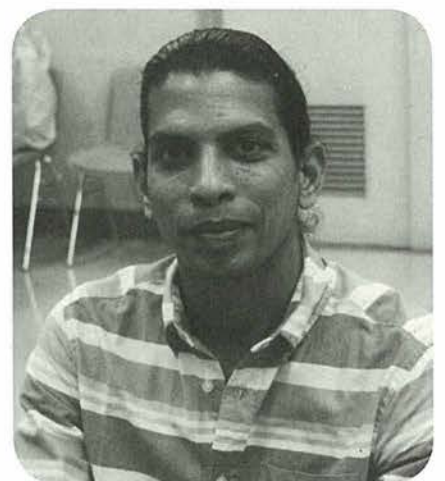
そして、21時から22時頃に晩ごはんです。とにかくたくさん食べます(笑)。ごはんは、お米が主食です。お米といっても日本のお米とは違いサラッとしていますから、お箸では食べません。チャパティと呼ばれる全粒粉で作った薄焼

きパンのようなものは朝食にとります。また、朝食には米粉を使ったケララ州独特の主食が多くあります。

インドの家族について

私は、父ととても仲がいいです。今でも、いつも電話をしています。家族、兄弟、みんな仲良しです。子どもの頃は、大きなファミリで家にたくさん人がいました。みんなでいつもいろいろな話しをして、何でもシェアします。家族の絆は強く、世話好きが多いです。一昔前の日本と似ているかもしれませぬ。

結婚式には、関係が遠い、とても遠い(笑) 親戚もくるので、新婦新郎の親戚だけで千人くらい集まります。それが普通です。私の時も、親戚をはじめ、近所1キロくらいに住む人は、みんな来たという感じですよ(笑)。近所の人たちは、どの子どもも、誰のどの



子かはみんな知っています。近所の子は、近所みんな育てるという感じですよ。だから安心です。日本は近所付き合いがなくて寂しいですね。インドはオープンマインドだから、インドでは外で子どもを見かけたらすぐに話しかけますが、日本では話しかけたら変な人と警戒されますね。それは寂しいことだなと思います。

日本とインドの違いについて

私は、ヨーロッパを10年ほど武術で回っていて、中国にも映画の仕事で行きました。日本人と中国人は似ているのかなと最初は思っていました。全然違いますね。中国人は積極的ですが、日本人はそうでもないですね。

日本人は礼儀正しいと思えました。電車にちゃんと並んで順番に乗るといのが驚きです(笑)。電車のトラブルがあっても日本人はパニックになりま

せんね。

インドだとトラブルがあるとすぐにパニックになります。日本は叫ぶ人もいませんし、電車もシステムティックで、1、2分遅れてもアナウンスで謝るのが不思議です。インドは謝らない。日本人はすぐに謝りますね(笑)。トイレも一列にきちんと並んで待つのに驚きました。順序よく並んでいますね。びっくりです。

カラリパヤットウについて

私の伯父は、カラリパヤットウのマスターとして、アーティスト年金をもらうくらい有名な人です。インドには、古典芸能に秀でた人だけがもらえるアーティスト年金という年金があるのです。カラリパヤットウは、日本という歌舞伎に近く、世襲制です。流派があり、伯父の所は老舗です。木製や鉄製の様々な武器を巧みに扱い、体幹

を鍛え、治療院も併設していて、オイルマッサージも教わりました。伯父はカラリパヤットウに人生を捧げたので、マスターの称号をもらえました。長男が継ぐという風習があるのですが、伯父の子ども5人は全員女の子だったこともあり、親戚で唯一の男の子である私が流派を継ぐことになりました。

日本に私が来たのは、日本でカラリパヤットウを広めたからです。日本で2013年から教えていますが、妻の浅見千鶴子は、2006年から日本で教えています。日本ではまだカラリパヤットウという名前はメジャーではないのですが、今は新宿でスタジオを借りて週3回、レッスンをしています。レッスンは毎回15名前後の方が習いに来てくれます。いずれは専用の道場を持って、大人だけでなく、子どもたちの身体的基础をつくるレッスンをしたいと思います。カラリパヤットウは体幹を鍛えるのにとっても適しているのです。子どもや初心者には武器を使いません。カラリパヤットウにより柔軟性が育まれ、スタミナがきます。

野球やサッカーのスポーツ選手でよく故障する選手がいますよね。それは身体的基础ができていないからです。私は子どもの身体的基础をつくり、将来活躍するスポーツ選手を育成したいと考えています。

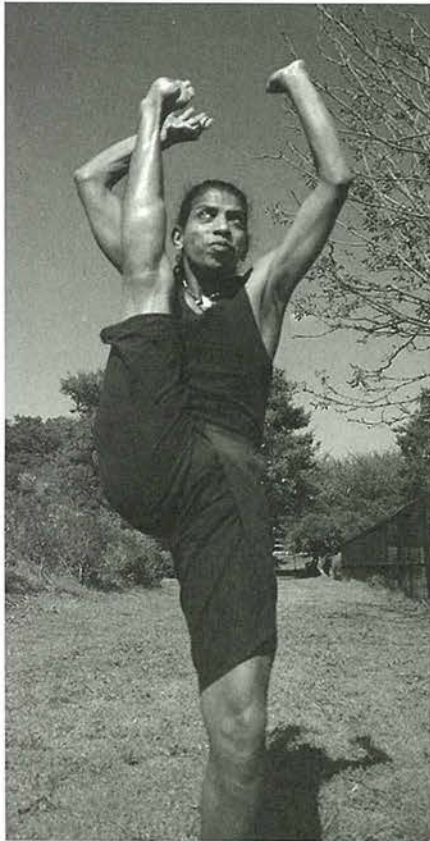
最近インストラクターコースを始めました。カラリパヤットウを教えるこ

とができる人を増やしたいです。一緒にやっていく仲間を増やすことで、カラリパヤットウを広めていき、カラリパヤットウの効能をぜひ感じてほしいと思っています。



取材を終えて

今回、お話をお聞きして、インドのイメージが変わりました。案外に日本との共通項も多かったことにびっくりです。カラリパヤットウがどんどん広まっていくといいですね。(高)



3 DVの被害経験について

問：配偶者等(※)からの暴力について経験したり、見たり聞いたりしたことがありますか。

※配偶者等には、恋人、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者（離別した相手・事実婚を解消した相手）も含まれます。

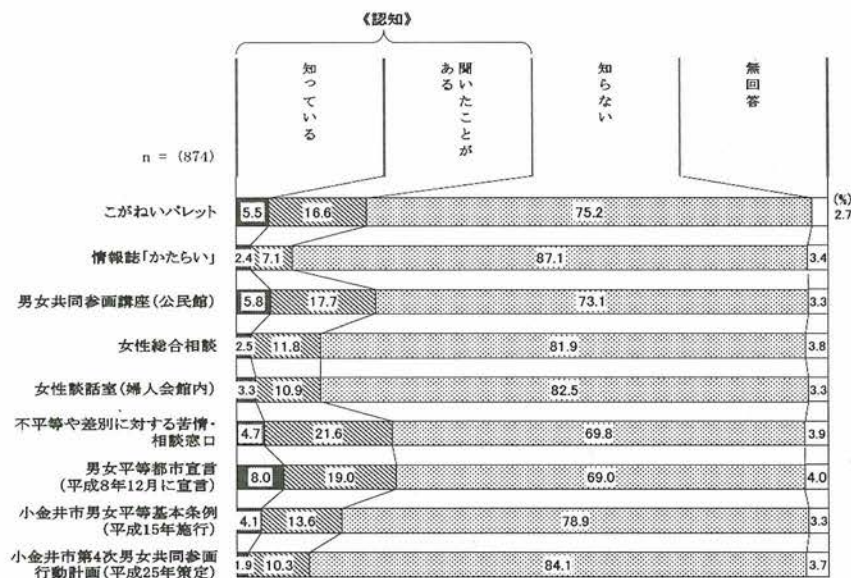


DVの経験を内容別にみると、被害経験は、男女ともにみられるが、特に“怒鳴ったり、暴言を吐いて、人格を否定する”（女性13.5%：男性6.0%）は女性が男性より7.5ポイント多くなっています。

加害経験は、概ね男性の方が多く、“怒鳴ったり、暴言を吐いて、人格を否定する”が5.2%となっています。

4 市の施策・取り組みに関することばの認知状況について

問：あなたは、次の「ことば」や「ことば」を知っていますか。



「知っている」はいずれも1割未満となっています。「聞いたことがある」をあわせた《認知》でみると、“男女平等都市宣言（平成8年12月に宣言）”（27.0%），“不平等や差別に対する苦情・相談窓口”（26.3%），“男女共同参画講座（公民館）”（23.5%），“こがねいパレット”（22.1%）が2割台となっています。

一方、「知らない」は多くの項目で7割以上となっています。

小金井市男女平等に関する市民意識調査結果について

(仮称) 第5次男女共同参画行動計画の策定に向け、市民の皆さんの男女平等に関する意識と生活実態を把握し、今後の男女共同参画施策に反映させることを目的に、調査を実施しました。報告書がまとまりましたので、その一部をご紹介します。

今後、この結果も踏まえ、男女平等推進審議会で計画の検討を進めるとともに、パブリックコメント等での市民の意見も反映させていきます。

調査対象…住民基本台帳から無作為抽出した市内在住の18歳以上の男女2,000人

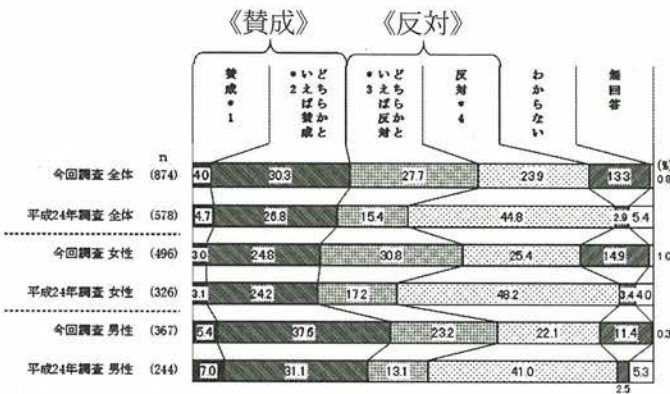
調査方法…郵送配布—郵送回収
(期間中督促状1回)

回収状況…874件/2,000件 (43.7%)

(小金井市男女平等に関する市民意識調査報告書は、小金井市ホームページに掲載しております。)

1 男女の役割分担意識について

問：「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という「性的役割分担意識」についてどう思われますか。

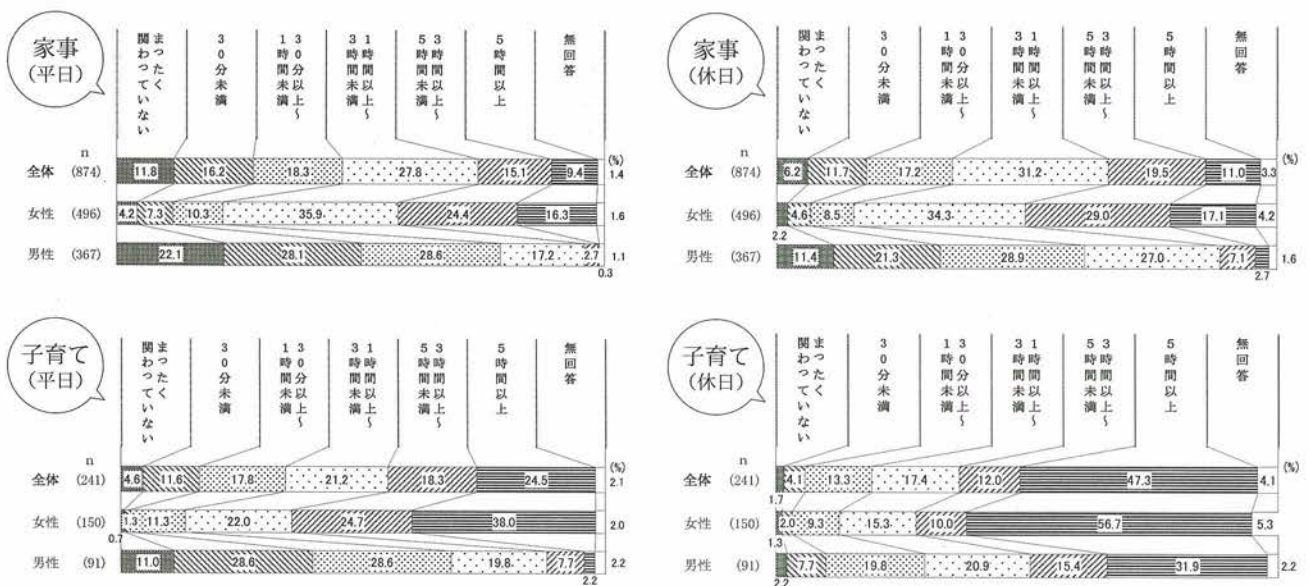


前回調査（平成24年実施）と比較して、男女とも《反対》が約9ポイント減少し、《賛成》は男性が4.9ポイント増加しています。

- ※1 平成24年調査では「そう思う」
- ※2 平成24年調査では「どちらかといえばそう思う」
- ※3 平成24年調査では「どちらかといえばそう思わない」
- ※4 平成24年調査では「そう思わない」

2 家事・子育てに携わる時間

問：あなた自身が家事・子育てに携わる時間は、1日あたりどれくらいですか。



1時間以上家事に携わる人の割合……平日（女性76.6%、男性20.2%）、休日（女性80.4%、男性36.8%）

1時間以上子育てに携わる人の割合…平日（女性84.7%、男性29.7%）、休日（女性82.0%、男性68.2%）

参加費
及び交通費を
補助します

男女共同参画関連の 会議に参加してみませんか

市では、男女共同参画社会の形成の促進に係る会議等に参加する市民に、参加費用の一部を補助する事業を実施しています。お気軽にご利用ください。市ホームページ(下記URLより)にも掲載しています。

1 補助対象となる会議等

東京都及び東京都に隣接する地域で開催される男女平等社会の早期実現を目指すための会議(宗教及び政治活動並びに営利等を目的とするものを除く。)であって、講演、シンポジウム、分科会等が行われ、参加者相互の交流が行われるもの。

：補助対象となる会議の例 東京ウィメンズプラザフォーラム等

2 応募資格 次の条件をいずれも満たす方。

- (1) 当該会議等を開催する日現在で、本市に2年以上居住し、18歳以上の方
- (2) 男女平等及び男女共同参画に関心を持ち、地域活動及び市行事に積極的に参加できる方

3 応募者の決定

参加希望者が定員(予算の範囲)を超えた場合は、抽選により決定します。

4 参加費補助の内容

開催地までの旅費及び会議に参加するための諸経費を合算した額の2分の1

5 応募方法

男女共同参画室 ☎042-387-9853 又は下記 URL から、申込書がダウンロードできます。また、市役所第二庁舎入口のチラシラックにも申込書を配置しています。

<https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/danjokyodosankaku/taisakusodan/kokunaikensyu.html>

保健センターで行われている夫婦・父子・男性が参加できる教室をご紹介します。

- 離乳食教室 対象：6～11か月の乳児の保護者 / 内容：離乳食の講義、試食
- こどもクッキング 対象：2歳から就学前までの幼児とその保護者 / 内容：子どもの栄養についての講義、調理実習及び試食
- マタニティクッキング 対象：妊婦とそのパートナー等 / 内容：妊娠期における栄養の摂り方等の講義・実習・試食
- 栄養講習会(テーマ別講習会) 対象：テーマごとに異なる / 内容：各回テーマを設けて、調理実習や講義等を行う。
- ママのための栄養講習会 対象：乳幼児の保護者を対象 / 内容：家族の健康のための栄養講座と調理実習
- 20代からの理想のカラダづくり講座【栄養編】 対象：20～39歳の男女 / 内容：栄養講義と調理実習、試食等
- 血管若返り教室 対象：20～64歳の男女 / 内容：血管測定、栄養・歯科・保健講義、運動実技

※詳細は健康課(042-321-1240)にお問い合わせください。

編集後記

男性の料理教室といえは、30年くらいたつが、実態はどうなっているのかを探って見た。しかし、お父さんたちはすくなく頑張っており、お母さんとの男女共同参画もそれとは意識せずに進んでいる。少しびびりした。このような基礎があって、現在もイクメンが出てくるのだなと思った。
(佐藤百合子)

料理づくりをきっかけに、人生を楽しんでいる様子の男性にお話を聞き、楽しく、こちらも元気になりました。実利だけでない、「料理のチカラ」があるように思います。この輪、男性のためにも女性のためにも、もっと広がって欲しいものです。
(坂井文枝)

「お互いの状況や気持ちを考える」と「田中さんのあつしやその言葉こそが、男女共同参画の原点になるのではないかと感じました。
(濱野智徳)

4年間、小金井で活躍する人たちのお話をいろいろとお聞きできて、とても楽しかったです。大変刺激を受けました。ありがとうございました。
(高島佐保子)

かたらい41号から44号にわたり、男性と男女共同参画について各号取り上げてきました。今号の特別企画でインタビューした小金井市翁味会さん、おやじランチさんを始め、非常に魅力的な方々のお話をお伺いし、改めて家族との関わり方を考え直すきっかけとなりました。ご協力をいただきました皆さまに、「この場をお借りして御礼申し上げます。」

(男女共同参画室)